

市町村名

中富良野町

取組と目標に対する自己評価シート

年度

令和3年度

前期（中間見直し）

実施内容

① 地域リハビリテーション活動支援事業（延人数）	9月末現在	280人
② リハビリ体操指導士の養成人数	9月末現在	43人（現人数）
③ 介護ボランティア登録者数（延人数）	9月末現在	0人
④ 認知症予防教室参加者数	9月末現在	20人
体力向上運動教室参加者数	9月末現在	28人（申込数）
⑤ 訪問リハビリテーション利用者数	9月末現在	19人
通所リハビリテーション利用者数	9月末現在	12人

自己評価結果【 ◎ 】

①については、昨年は9月末時点で151人であった。緊急事態宣言など通いの場の自粛はあったが活発な活動ができたと思われる。

⑤については、訪問及び通所リハビリテーションの利用者数は現段階で目標の8割を達成しており、自立支援を促すことができていると考える。

課題と対応策

新型コロナウイルス感染症蔓延の状況により、老人会やサロンなどの通いの場の活動は停止する。日頃から顔を合わせている人と少人数で集まれる形の通いの場も必要と思われる。

⑤については、一方で、疾病や加齢等で新規に要介護及び要支援状態となる被保険者もいることから、今後も引き続きサービスについて情報提供やサービスへつなぐ支援を継続する必要がある。

後期（実績評価）

実施内容

自己評価結果【 】

課題と対応策

市町村名

中富良野町

取組と目標に対する自己評価シート

年度

令和3年度

前期（中間見直し）

実施内容

① 住宅改修の点検件数	9月末現在	0件
② 医療情報との突号件数	9月末現在	50%
③ 縦覧点検件数	9月末現在	70%

自己評価結果【 ○ 】

- ①については、今年度9月末時点で6件の住宅改修の申請があったが、過去3年平均よりも申請件数が少ないこともあり、未実施の状況。
- ②・③については、受信済の帳票はすべて出力しているが、実施については目標には到達していない状況。

課題と対応策

- ①については、今後の申請件数の動向も考慮しながら、適切に行っていきたい。
- ②・③については、専門的知識の習得が必要であり、連合会の研修等への参加を今後検討したい。

後期（実績評価）

実施内容

自己評価結果【 】

課題と対応策

市町村名

中富良野町

取組と目標に対する自己評価シート

年度

令和3年度

前期（中間見直し）

実施内容

- | | | |
|--------------------|-------|------|
| ① 地域包括支援センター総合相談件数 | 9月末現在 | 244件 |
| ② 配食サービス実利用者数 | 9月末現在 | 54人 |

自己評価結果【 ◎ 】

例年通り推移

課題と対応策

後期も継続

後期（実績評価）

実施内容

自己評価結果【 】

課題と対応策

市町村名

中富良野町

取組と目標に対する自己評価シート

年度

令和3年度

前期（中間見直し）

実施内容

① 保健福祉総合推進委員会開催回数	9月末現在	0回
② 地域ケア会議開催回数	9月末現在	6回
③ 地域ケア推進会議開催回数	9月末現在	1回
④ 認知症地域支援推進員配置数	9月末現在	1人
⑤ オレンジコーディネーター配置数	9月末現在	1人
⑥ 認知症講演会開催回数	9月末現在	0回
⑦ 認知症サポート医登録数	9月末現在	1人
⑧ 認知症サポーター養成講座		
開催回数	9月末現在	0回
参加者実人数	9月末現在	0人
認知症サポーター延人数	9月末現在	543人
⑨ 生活支援コーディネーター報告会議開催回数	9月末現在	0回
⑩ 生活支援コーディネーターの配置人数	9月末現在	2人
⑪ 協議体		
会議開催回数	9月末現在	0回
設置数	9月末現在	1組織
⑫ 富良野圏域他職種連携協議会参加回数	9月末現在	0回

自己評価結果【 ○ 】

地域ケア会議についてはリモートで開催できるようになったことで、新型コロナウイルス感染症の状況に左右されず、毎月実施することが可能となった。また、個別事例検討も定例で開催することが可能となった。認知症サポーター養成講座については新型コロナウイルス感染症の動向を見ながら、希望を募って研修を行っていきたい。

課題と対応策

個別事例検討を重ねてはいるが、推進会議での政策提言までは至っていない。今後も回数を重ねていくことで必要とされる地域資源の開発へ繋がるように協議していく。

後期（実績評価）

実施内容
自己評価結果【 】
課題と対応策